

第9回 藤井寺市地域公共交通会議 会議録

日 程：令和8年7月14日（火）14時00分～15時30分

場 所：藤井寺市役所3階 305会議室

出席者：別紙参照

会議議題：1. 開会

2. 委員紹介

3. 議題 (1) 前回交通会議議事の振り返り

(2) 利用状況

(3) 既存公共交通の維持・継続を図る施策の検討

(4) 今後のスケジュール案

4. 閉会

傍聴者：4人

議事内容

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

・委員18名の内16名の出席により本会議の成立を報告

4. 配付資料確認

5. 会議の成立および報告事項

6. 議題

議事 (1) 前回会議の振り返り、(2) 利用状況

＜事務局より議事 (1) (2) を説明＞

猪井会長

○運行内容を変更した結果、持続的な運行状況になっている。

坂部委員

○利用者から予約センターの受付開始時間が9時のため、1便8:30発のキャンセルができなかったと聞いた。留守番電話等で、受付開始時間前のキャンセルを受け付ける方法を考えてほしい。

事務局

○今後の改善としては、留守番電話やネット予約による「見える化」など確認できる方法を検討したいと考えている。

谷口委員

○津堂に住んでいる知人が8:43発の津堂から乗車するために少し前に待っていたが、タクシーが来なかったため、歩いて目的地まで向かった。本人は携帯電話を使うことが困難であり、そういった方への緊急時の対応方法等も考えてほしい。

事務局

○配車がうまくいかなかった日があり、市としても認識している。運行事業者と予約状況の共有が上手くできておらず、予約に漏れがあった。緊急時の対応として、ご自宅に連絡をしたが、その時点では繋がらなかった。

谷口委員

○当事者には、交通事情等によって乗合タクシーの到着が遅くなることもあるので 10 分ほどは待つよう伝えた。

事務局

○当時、私が現場に直行したが、当事者の方とすれ違いになったようであり、歩いて目的地に到着していたようである。

○今後はこのようなことがないように予約センターとの意思疎通、指導を行っていく。内容の「見える化」を含め、本格運行に向けて予約方法を検討していきたいと考えている。

猪井会長

○デマンド用の予約システムを入れるとすべてが解決するものではない。ただ、システムを入れるとキャンセルや予約確認がしやすかったりする。ただ今回の事案のように最終的には人と人との対応が大事だと思う。

安岡委員

○運行内容の変更前後の利用状況を見ると、変更後は便数が減り、曜日も日・祝日は休止したが利用は変わらずあるため、評価としては「良」ということか。

事務局

○便数は教室やセミナーの開始時間に合わせて集約し、22 便から 16 便になったが、利用者の要望に合わせた結果、大幅な利用者減にはなっていないので、「良」と判断できている。

猪井会長

○予約システムを入れるのであれば、デマンド専用のシステムは便利かもしれないが、藤井寺市は既にオンライン窓口の申請システムがあるのでうまく活用していただきたい。

議事（３）既存公共交通の維持・継続を図る施策の検討

＜事務局より議事（３）を説明＞

小森委員

○運転手不足への対応として、大阪バス協会が主催する合同就職説明会が今月あり、事務局には市民に向けて周知をお願いしたい。合同説明会は翌年 2 月にも開催予定であり、その際は周知チラシ等を送付したいと思っている。

永井委員

○弊社も運転手が不足しており、このような取り組みを実施していただけるのはありがたい。子ども向けのバスの乗り方教室等も有効だと思っている。

猪井会長

○豊中市と吹田市の総合交通マップは転入者の方に手渡すもので、作成に力を入れている。最初に公共交通手段としてこんなものがあると知ってもらうことが大事であり、転入者用の配布物に入れたそうである。そういった観点から、転入予定者も来る不動産会社に総合交通マップを留め置きしてもらうのも有効だと思う。総合交通マップの配布方法も検討すべきだと思う。

○ネーミングライツはデマンド型乗合タクシーの停留所が主なターゲットになる。

中野委員

○ぜひともタクシーの利活用策も検討してほしい。

猪井会長

○高槻市など他の市町村では、シェアサイクルと連携して、バス停の近くにポートがあって、サイクル&バスライドのような取り組みもある。

白井委員

○P13にもあるが、5月に職業説明会&座談会があった。流れとしては、大阪バス協会様から業界全体の状況、各バス会社様への質疑応答等を実施していただいた。いろいろな方法があると思うが大阪府と連携するのであればお声をかけてほしい。

上田委員

○バス運転手への転職は何歳ぐらいまで対応可能か。60歳以上となると、運転の視認性や判断力も落ちてきて、仕事として行うのは難しいように感じる。

猪井会長

○この施策が根本的な解決の方法ではないと思う。消防隊員や自衛隊等の仕事として大型車をこれまで運転してきた方を想定していると聞いている。これは、やむを得ずの施策の一つである。

議事（４）今後のスケジュール案及び参考資料１、参考資料２

＜事務局より議事（４）、参考資料１、参考資料２を説明＞

中野委員

○路線バスの設問に「自宅から何百メートル（何分）のところにバス停がある」がほしい。

安岡委員

○属性（家族構成など）について細かいところまで聞く必要があるのか。

猪井会長

○利用実態を確認する場合、家族構成があった方がより詳細に分析できるからだと思う。

○項目等の設定は最終、私と事務局に一任していただいて、このような形で調査を実施することについて、これでよろしいか。

・ 全員承認

事務局

○警察に伺いたい但運転免許返納について、どのくらいの頻度で申請があるのか。

岸本委員

○署内で確認したいと思う。

猪井会長

○それでは、第9回藤井寺市地域公共交通会議を終わりたいと思う。ご協力ありがとうございました。

事務局

○次回会議につきましては、デマンド型乗合タクシーの利用状況等の報告など、9月から10月初旬を予定している。

以上